

半田・亀崎でフィールドワーク

模型を使って成果を報告する学生(左)＝半田市亀崎町の街かどサロンかめともで

空き家評価など 日福大生ら成果報告



半田市亀崎町の街かどサロンかめともで18日夜、亀崎地区を拠点にフィールドワークをした学生の成果報告会があった。

日本福祉大工学部の3年生は、地域の空き家を把握し、活用可能性を評価。

「改修で活用できる」「老朽化が著しい」などと区別し、地図に落とし込んだ。

4年生は、住民と学生双方が学びを得られるよう、地区を巡るスタンプラリーなどのワークショップを開

催。同様のイベントを企画していた卒業生らにもアンケートを取り、継続に必要な要素を確認した。住人の拠点となる施設を想定した模型作りにも挑戦した。

健康科学部の学生は、健康維持につながる地域のウォーキングコースを作成。

名城大理工学部の学生は、多くの路地に連なるプラントーに着目し、子どもたちが探検し、名前を付けるイベントの成果を報告した。

(和泉萌花)